

神戸城跡と周辺について

(質問) 神戸城跡の石垣について、文化庁による指針や要領案の定めに従って耐震診断を実施すべきと考えるが、今後の計画について問う。

(答弁) 文化庁の文化財石垣耐震診断指針では、耐震対策を進める標準的な手順や補強方法などが公開され、同時に文化財石垣予備診断実施要領案も示されている。神戸城跡の石垣は、その規模などから指針などの適用範囲に当たると思われるため、補助制度を活用し予備診断や基礎診断などの実施を検討する。

その他の質問 ○公共施設等への落書き被害



鈴鹿市職員定数条例について

(質問) 令和6年度から市長の事務部局の職員定数を50人増とする条例改正案が提出されている。そこで現状と人件費などについて聞く。

(答弁) 令和6年度当初の職員数は、20人増加する予定である。また、令和5年度一般会計当初予算における人件費は、正規職員、会計年度任用職員などの合計額が135億6,829万3,000円。令和5年度一般会計当初予算における歳出全体の予算に占める人件費の割合は約19.6%。職員数が50人増となった場合の人件費は、約3億7,000万円の増額となる。

その他の質問 ○防災減災 ○市営住宅



公共施設工事について

(質問) 文化会館の大規模改修事業について、契約金額が当初の18億9,200万円から約20億8,200万円に変更となった経緯について問う。

(答弁) 当初契約締結後、工事を進める中、給排水管やガス管の腐食が見つかったため、調理室の給水管およびガス管の改修工事などの追加契約を行った。なお、資材高騰分と労務費に係る約8,900万円の増額については、当初契約の工事費において、資材費とそれを施工するための労務費を含めた価格により積算されているため、おのおのの金額および増加額を明確に算出することは難しい。



公共施設マネジメントについて

(質問) 持続可能な公共施設マネジメントを行うために、改修一辺倒ではなく、複合化や集約化を進めていくべきではないか。今後、整備を進める図書館についても、改修ではなく、白子駅周辺への移転・複合化などを検討すべきではないか。

(答弁) 令和6年度から、個別施設計画において複合化や集約化についても積極的に検討を行っていく。図書館についても、複合化や周辺施設との集約化も視野に入れて、今後整備の方向性を調査研究していく。

その他の質問 ○市内の道路整備



天栄中学校区の学校再編について

(質問) 義務教育学校が開校されると、教職員数が減り、児童・生徒に寄り添った教育ができなくなるのではないかと。また、義務教育学校に向けた各小学校の今後の対応について問う。

(答弁) 教職員数は学級数に応じて三重県教育委員会が定めており、学校が適正規模になると同学年に複数の教職員を配置でき、教職員の負担軽減や、児童・生徒へのきめ細やかな指導につながる。また、合川・天名・郡山小学校は令和8年度の再編に向け準備を進める。栄小学校は学校間の交流やカリキュラムの編成などにより校区連携を深める。



支援が必要な児童・生徒への対応について

(質問) 不登校児童・生徒への対応について、現状と小学校における副担任制などについて問う。また、特別支援学級における担任の資格所有状況や支援について問う。

(答弁) 不登校者数は増加傾向で、欠席30日未満の小学校低学年の欠席が顕著に現れた。教職員定数の関係により副担任制はとっていない。特別支援学校教諭免許状の所有者数は、本市教職員全体で93人(10.6%)、特別支援学級担任で28人(19.2%)。通常学級にも支援が必要な児童・生徒が増加しており、全教職員が研修を年1回以上受講する。

